



刈遅れは厳禁！ 青籾歩合と籾水分を確認し適期刈取りを！

今年の出穂期は、平年並～1日程度早まりました。圃場ごとのバラつきはありますが穂数はやや少ない、籾数は平年並、葉色は濃い状況となっております。

8月からは高温で経過したため登熟が進み、刈取り時期は平年より2～3日程度早くなると見込まれています。

また、中干し開始時期から降雨が続いたことで根の活力が低下しており、今後の気象推移によっては枯れ上がり及早まることが想定されます。

積算気温を参考に、圃場全体を観察して枝梗の黄化や青籾歩合、籾水分をチェックし、刈取適期を総合的に判断して刈遅れないように注意しましょう。

〔表1〕出穂・収量構成要素の状況（酒田市荻島、漆曽根 生育診断圃）

品種		出穂期 (月日)	止葉 (枚)	m ² 当穂数 (本/m ²)	1穂籾数 (粒)	m ² 当籾数 (粒)	穂揃期の 葉色 (SPAD)
はえぬき	R2年	8月3日	12.1	503	66.4	33,400	40.9
	平年比	(8月4日)	-0.1	93%	104%	97%	+4.8
つや姫	R2年	8月11日	12.4	382	67.0	25,600	35.7
	平年比	(8月10日)	±0.0	83%	96%	79%	+1.9

※生育診断圃データ「つや姫」のm²当穂数は少ない状況ですが、その他の展示圃データを平均すると、圃場によって差はあるものの概ね平年並となっております。

技、其の一 刈取り前の圃場準備

今後も高温で経過する予報となっております。また今年の中干しが不十分な圃場が多く見られますので、刈取り作業に支障がないよう落水時期を決定し、スムーズに適期刈取りできるよう準備して下さい。

但し、フェーン現象等の高温や強風が予想される場合は、一時的に湛水して稲体の消耗を防ぎましょう。

近年、一部圃場の畦畔を中心に雑草のクサネムが見られます。この種子が混入すると選別機では除去されず等級格下げの原因になりますので、刈取り前に抜き取りましょう。

技、其の二 適期刈取りの目安

今年平年並みの出穂期でしたが、その後高温で経過したことから積算気温での刈取り時期は早くなっています。但し、刈取り開始の判断は下表を参考に、枝梗の黄化、青籾歩合、籾水分を見て総合的に判断し、適期に刈取りできるよう計画しましょう。

【平坦地域適期刈取りの目安】(酒田アメダス値を利用 9/1まで実測値)

品 種	出穂期 (中心日)	出穂後の積算温度による本年の刈取り適期				
		9/15	9/20	9/25	10/1	10/5
ひとめぼれ	8/3	9/9 9/16				
はえぬき 雪若丸	8/3	9/9 9/21				
つや姫 コシヒカリ	8/11	9/21 10/2				

【刈取り開始時期の判断項目】

- ① 1穂の籾水分測定による判断…25%以下が刈取り開始時期で23%が適期！！
平均的な1穂の籾を全部脱粒し、青籾と混合して水分検定器（もみ測定に設定）で数回測定する。
- ② 1穂の青籾歩合による判断…20～15%の青籾歩合で刈取り開始

品 種	青籾歩合	籾水分
ひとめぼれ・つや姫・コシヒカリ	15%	25%
ササニシキ・はえぬき・雪若丸	20%	25%

技、其の三 刈取り・乾燥・調製作業の留意点

- ① 刈取った籾はヤケ米の発生を防ぐため、速やかに（収穫後2時間以内）乾燥作業に入るようにしましょう。
- ② 刈遅れは、胴割粒・着色粒の増加、玄米光沢の低下等、品質が著しく低下します。周辺より早めに出穂した圃場では、刈遅れによる品質低下に注意しましょう。（つや姫は刈遅れると茶米が発生する恐れがあります。）
- ③ 籾の急激な乾燥は胴割粒の発生を助長します。二段乾燥を励行し丁寧な乾燥・籾摺作業を行いましょう。
- ④ 適正水分は玄米で14.5～15.0%です。水分の戻りがないよう注意しましょう。

技、其の四 混米(異品種混入)防止の徹底を!!

収穫・調製時における混米は、コンバイン・乾燥機・籾摺機などの機械に起因するので、品種の切替え時には各機械の清掃を徹底し、清掃記録をつけましょう。**(清掃時には必ず機械のエンジン・動力を停止して安全に!)**

共乾施設では、複数の生産者の籾が搬入されるため、一人の生産者のミスが他の多くの生産者に迷惑をかける事となります。刈取り搬入(特に刈取委託の場合)の際は、**事前に刈取り圃場の品種、各施設の刈取り計画(月日、品種)を必ず確認しましょう。**

尚、JAグループでは信頼される商品をお届けする為、出荷前のDNA検査に取り組んでいます。

大豆の管理について

☆大型雑草の除去は早めをお願いします!

一部に大型雑草やイヌホオズキなど汚損粒の原因となる雑草も見受けられます。現在の刈取り開始時期の見込みは下表の通りです。(コンバインでの収穫)

令和2年産 大豆の刈取り開始の目安(成熟期+7日で試算)

品 種	リュウホウ	エンレイ	里のほほえみ
開 花 期	7月25日中心	7月27日中心	7月29日中心
刈取り開始時期	10月10日頃	10月20日頃	10月26日頃

☆あくまでも目安です。今後の天候で落葉・成熟が早まることもあります。

★ 秋季農作業事故防止強化期間(9月1日~10月31日)

9月~10月は水稻の収穫時期を迎え、コンバインなどの大型農業機械を扱うため、春に次いで農作業事故が多くなる時期です。

作業を焦るあまりに、農作業事故を起こすことの無いよう、ゆとりある作業計画を立てると共に事前に機械を整備・点検し、機械の操作は慎重に行いましょう。



米生産履歴記録書の提出について

現在、米生産履歴記録書によりJA米要件を確認しております。

未提出の方は、早急に最寄りの支店、または営農課まで提出下さるようお願いいたします。



気象変動に負けない! 庄内みどりのつや姫・雪若丸

つや姫・雪若丸情報コーナー



○ 早期落水は厳禁!

出穂後30日までは、落水せずに最後の登熟を助けましょう。

○ つや姫の出穂20日後の葉色チェックは済みましたか?

この時期の葉色の目安はSPAD値で32以下です。葉色の濃い圃場、濃い場所は別刈りを行なう等、おいしいつや姫に仕上げましょう。

○ 登熟は順調に進行中! 適期刈取りを厳守!

刈取り晩限に留意した刈取り計画を作成し、適期内に刈終るようにしましょう。

園芸情報

娃娃菜栽培管理情報

🍷 栽培のポイント

灌水は、生育に「ムラ」が出ないように灌水チューブ等を使用し、均一に行うようにしましょう。

マルチは、(最適な株間に穴が空いている)娃娃菜マルチ(グリーン)を使用しましょう。

【基肥】MMB14化成 100kg/10a、エコロング413M100 40kg/10a

【栽植密度】ベッド幅 1m~1.2m 条間 30cm 株間 20cm 4条植

🍷 定植後の管理ポイント

収穫遅れによる規格外品の発生を防ぐ為、段播きをお勧めします。一回に収穫出来る量を把握し2~3回に分けて播種する事で収穫遅れを防ぐ事が出来ます。収穫の間隔は10日以上ある事が望ましいです。

また、縁腐れ症や芯腐れ症(カルシウム欠乏症)の予防の為、結球前から5~7日程度の間隔で2~3回液体カルシウム剤の葉面散布を行って下さい。追肥は葉色が淡くなる前に液肥を定期的に散布します。

☆ 早めの病害虫防除を心がけましょう。

定植後は病害虫の発生が懸念される為、薬剤防除や防虫ネットの設置で被害を未然に防ぐ事が重要になってきます。

定植~生育前半は、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、キスジノミハムシの発生に注意しましょう。害虫による食害は軟腐病の発生を助長する為、定植後20日頃に害虫防除を行います。(結球前の防除が重要)

結球始期~収穫前については、結球葉の中に害虫が入らない様に定期的にコナガ、ヨトウムシの防除を徹底します。

高温期には軟腐病の発生を防ぐ為、過剰な灌水や頭上灌水を避けましょう。

農薬散布は、薬剤抵抗性の出現を防止する為に作用性の異なる薬剤を輪用散布しましょう。収穫期に近くなったら、薬剤の収穫前日数に十分に注意して下さい。

🍷 農薬による病害虫防除を行う場合は、必ず使用基準を守りましょう。防除暦に記載されていない農薬を使用する時は、使用前に必ず最寄りの園芸センターにお問合せください。

★次号の発行は10月12日です。